

『一人の笑顔のために』

公立後期選抜を受検する友への無言の励ました！

公立前期選抜合格内定！ 合格・不合格にホッとする。がっかりする。しかし、どちらもまだ早い。勝負はこれからだ。前期に失敗しても、後期に合格した例は多い。どれくらいの気力を、どれくらい注ぐか。どれくらいの期間集中して続けることができるか。苦しみをただ苦しみだけで終わらせるか。苦しみを、勝負するよいチャンスだと見るか。今後の生活力の強弱にかかわってくる。 後期選抜まであと26日。ベストを尽くそう！

努力して後悔した人を見たことがない
練習して下手になる人もいない
勉強して馬鹿になった人もいない
何かをして変わった人はいても
何もしないで変わった人はいない

公立受検の必要がない人へ

☆高校合格はゴールではなく、自分の進路実現に向けてのスタートです☆

○新しい世界で、ゆとりを持って生活するために。（規律正しい生活習慣と、学力の蓄積を！）

○公立を受検する級友への無言の励ましのために。

毎日の学校生活をきちんと送り、最後まで心を合わせてがんばろう。

「うさぎとかめ」続編

1回目よりタイムが良かったからとガッツポーズをしてゴールしたカメさん。翌朝の「森の動物新聞」には、またしても第一面に「カメさんのにっこり笑顔のガッツポーズ」の写真が大きく、勝利したうさぎさんの写真が小さく掲載されました。またまた、くやしすぎるウサギさん。ここまでの戦いは1勝1敗！ 決着をつけると、ウサギさんはカメさんに再選を挑みました。すると・・・カメさんはこう答えます。

「ウサギさん、一つだけ条件があります。私にコースを決めさせてください。」

そのコースは、最初の半分は、「山」、残りは「湖」でした。「よい、どん！」最後の競争がはじまりました。ウサギさんは道を切り開きながら、どんどん走って行きます。すると、途中で大きな湖に突き当たりました。泳げないウサギさんは、悩みこんでしまいました。カメさんは、ウサギさんの切り開いた道をゆっくり歩いていました。「ウサギさんのおかげで道ができていて楽ちんだ。」しばらくすると、カメさんも湖に着きました。「ウサギさん、私の背中に乗ってください！」カメさんは言いました。ウサギさんはカメさんの甲羅に乗って無事に岸に辿り着きました。湖を越えるとゴールは目の前。しかし、手前にはでこぼこ道が広がっていました。今度はウサギさんが言いました。「カメさん、私の背中に乗ってください！」ウサギさんはカメさんを背中に乗せて、でこぼこ道をジャンプしながら一緒に1位でゴールしました。



『一人でできることは限られていますが、力を合わせればできることもあるのですね。』